

入札公告等の変更

令和3年8月11日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 河原 雄介

令和3年8月5日付で公告した「令和3年度アルファ線スペクトロメータの購入」の一般競争入札について、以下のとおり変更します。

1. 入札公告の変更

変更前	変更後
<p>(中略)</p> <p>4. 契約条項を示す場所等</p> <p>(1)契約条項を示す場所等</p> <p>a 契約条項を示す場所及び問合せ先</p> <p>〒106-8450 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル16階 原子力規制委員会原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門 担当 高橋 宏明 TEL: 03-5114-2225 FAX: 03-5114-2235 メールアドレス nra.contact.020v.h9s@ks.nsr.go.jp</p> <p>b 入札説明書の交付</p> <p>原子力規制庁ホームページの「調達情報」から「物品・役務」>「一般競争入札」より必要な件名を選択し、入札説明書のファイルが添付されているので、ダウンロードして入手すること。</p> <p>http://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/buppin-itaku/buppin/index.html</p> <p>(2)入札説明会の日時及び場所</p> <p>入札説明会は開催しない</p> <p>(3)機能証明書の受領期限及び提出場所</p> <p><u>令和3年8月13日(金) 12時00分</u> 〒106-8450 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル16階 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ 技術基盤課契約係</p> <p>(4)入札・開札の日時及び場所</p> <p><u>令和3年8月31日(月) 15時30分</u> 原子力規制委員会原子力規制庁 六本木ファーストビル18階入札会議室 ※開札は入札終了後直ちに行う。</p> <p>(中略)</p>	<p>(中略)</p> <p>4. 契約条項を示す場所等</p> <p>(1)契約条項を示す場所等</p> <p>a 契約条項を示す場所及び問合せ先</p> <p>〒106-8450 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル16階 原子力規制委員会原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門 担当 高橋 宏明 TEL: 03-5114-2225 FAX: 03-5114-2235 メールアドレス nra.contact.020v.h9s@ks.nsr.go.jp</p> <p>b 入札説明書の交付</p> <p>原子力規制庁ホームページの「調達情報」から「物品・役務」>「一般競争入札」より必要な件名を選択し、入札説明書のファイルが添付されているので、ダウンロードして入手すること。</p> <p>http://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/buppin-itaku/buppin/index.html</p> <p>(2)入札説明会の日時及び場所</p> <p>入札説明会は開催しない</p> <p>(3)機能証明書の受領期限及び提出場所</p> <p><u>令和3年8月19日(木) 12時00分</u> 〒106-8450 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル16階 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ 技術基盤課契約係</p> <p>(4)入札・開札の日時及び場所</p> <p><u>令和3年9月6日(月) 9時30分</u> 原子力規制委員会原子力規制庁 六本木ファーストビル18階入札会議室 ※開札は入札終了後直ちに行う。</p> <p>(中略)</p>

2. 入札説明書の変更

(1) (別紙) 原子力規制委員会原子力規制庁入札心得の変更

変更前	変更後
<p>(中略)</p> <p>6. 入札書の提出</p> <p>(1) 入札書を提出する場合は、入札説明書において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上提出すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、当面の間、誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。</p> <p>(2) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）、宛名（支出負担行為担当官原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官殿と記載）及び「<u>令和3年8月31日開札 [令和3年度アルファ線スペクトロメータの購入]</u> の入札書在中」と朱書きして、入札日時までに提出すること。</p> <p>(3) 電子調達システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子調達システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕をもって行うこと。</p> <p>(中略)</p>	<p>(中略)</p> <p>6. 入札書の提出</p> <p>(1) 入札書を提出する場合は、入札説明書において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上提出すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、当面の間、誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。</p> <p>(2) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）、宛名（支出負担行為担当官原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官殿と記載）及び「<u>令和3年9月6日開札 [令和3年度アルファ線スペクトロメータの購入]</u> の入札書在中」と朱書きして、入札日時までに提出すること。</p> <p>(3) 電子調達システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子調達システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕をもって行うこと。</p> <p>(中略)</p>

(2) 仕様書の変更

変更前	変更後
<p>(中略)</p> <p>5. 仕様 <u>アルファ核種の放射線測定を行うことが可能な測定装置であること。</u></p> <p>5.1 詳細仕様</p> <p>(1) アルファスペクトロメータ：2台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネル数は6chとする。 ・メンテナンスを容易にするため2chモジュール×3台の構成とする。 ・スペクトルサイズとして4096、2048、1024、512及び256が可能であること。 ・電源遮断後、最低3日間データ保持可能であること。 ・真空チェンバは錆びにくく、除染しやすい材質とすること。 ・真空チェンバサイズはH8cm×W6cm×D6cm以上とすること。 ・最大直径51mmまでのサンプルが測定可能であること。 ・<u>サンプル検出器距離は1mm～45mmで4mmごとに設定可能であること。</u> ・真空度(0.0～20Torr)をデータ処理装置からモニタ可能であること。 ・高圧電源(0～100V)を備えていること。 ・<u>高圧インターロック機能を有すること。</u> ・5nA～2,500nAの漏れ電流をモニタできる検出器のリークカレントモニタを備えること。 ・<u>周波数40Hz、安定度±50ppm、$V_{\text{p-p}}$ 0～10MeVのパルスサーを備えていること。</u> ・完全コンピュータコントロール可能であること(Vacuum、Vent、高圧、パルスサー)。 ・ヒューマンエラー防止のため機器前面には操作スイッチがないこと。 	<p>(中略)</p> <p>5. 仕様 <u>アルファ核種の放射線測定を行うことが可能な測定装置であること。5.1 詳細仕様</u> <u>に示す性能と同等又はそれ以上の物であること。</u></p> <p>5.1 詳細仕様</p> <p>(1) アルファスペクトロメータ：2台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネル数は6chとする。 ・メンテナンスを容易にするため2chモジュール×3台の構成とする。 ・スペクトルサイズとして4096、2048、1024、512及び256が可能であること。 ・電源遮断後、最低3日間データ保持可能であること。 ・真空チェンバは錆びにくく、除染しやすい材質とすること。 ・真空チェンバサイズはH8cm×W6cm×D6cm以上とすること。 ・最大直径51mmまでのサンプルが測定可能であること。 ・<u>サンプル検出器最大距離は44mm以上で4mmごとに設定可能であること。</u> ・真空度(0.0～20Torr)をデータ処理装置からモニタ可能であること。 ・高圧電源(0～100V)を備えていること。 ・<u>(削除)</u> ・5nA～2,500nAの漏れ電流をモニタできる検出器のリークカレントモニタを備えること。 ・<u>周波数40Hz以上、安定度±50ppm/°C、$V_{\text{p-p}}$ 0～10MeVのパルスサーを備えていること。</u> ・完全コンピュータコントロール可能であること(Vacuum、Vent、高圧、パルスサー)。 ・ヒューマンエラー防止のため機器前面には操作スイッチがないこと。

- ・LED インジケータで機器の自己診断・真空・通信・測定状況がわかること。
- ・検出器汚染防止のため検出器とチェンバ容器の間に反転バイアスを印加するとともに自動で適正真空調整する RecoilSuppression 機能を有すること。
- ・ドライ空気・窒素でチェンバ容器除染できる機能を有すること。
- ・万が一故障が発生した場合は機器全体を引き取ることなく対象となるモジュールのみ引取修理とし、その他のチャンネルは継続して測定が可能であること。また、長期修理になる場合は業務に支障の無いようにバックアップ機を用意すること。
- ・国内に技術者を常駐し、迅速なメンテナンス体制をとること。
- ・データ処理装置との通信は Ethernet であること。

(2) 検出器：12 個

- ・有感面積 1200mm² 以上であること。
- ・分解能は 37keV 以下であること。(5.486MeV において)
- ・バックグラウンド 24 カウント/日以下であること。
- ・イソプロピルアルコールで洗浄可能であること。
- ・空乏層厚 140 μm 以上であること。

(3) アルファ解析ソフトウェア：2 個

- ・解析は文部科学省測定法シリーズ「プルトニウム分析法」「ウラン分析法」「アメリカシウム分析法」に準拠すること。
- ・アルファスペクトロメータの設定・制御・キャリブレーションが可能であること。
- ・モジュールごとに次の制御が可能であること。
測定開始・終了、データ保存・読込・消去、プリセット、ピークサーチ、真空モニタ、真空ホールド、真空ベント、高圧印加
- ・以下の分析が可能であること。

ROI、トレーサー定量、トレーサーレス定量、インタラクティブピークフィット、ピーククロケイト、エネルギー校正、効率校正、バックグラウンド補正、減衰補正

- ・品質管理機能 (QA) により機器の健全性を確認できること。
- ・イベントログファイルを連続記録できること。
- ・ひとつの画面上に 8 個のスペクトルを同時に表示、モニタできること。
- ・以下の出力帳票が行えること。
ピークの左右端・面積カウント、チャンネルごとのカウント、スペクトル図
- ・データベース MicrosoftSQLServer2014 相当以上を含むこと。
- ・サンプルタイプで容易に検索できること。
- ・測定中にプリセット到達前でもプリセット時間が変更可能であること。

(4) データ処理装置：2 台

OS Windows10 Professional
CPU Core i5 以上 メモリ 8 GB 以上
HDD 500 GB 以上
光学装置 コンボドライブ
付属ソフトウェア Office 2019 Home & Business 以上
ディスプレイ 19 インチ以上
その他 収納ラック及び椅子
無停電電源装置 700W を 5 分程度対応

(削除)

(削除)

(削除)

- ・万が一故障が発生した場合は機器全体を引き取ることなく対象となるモジュールのみ引取修理とし、その他のチャンネルは継続して測定が可能であること。また、長期修理になる場合は業務に支障の無いようにバックアップ機を用意すること。
- ・国内に技術者を常駐し、迅速なメンテナンス体制をとること。
- ・データ処理装置との通信は Ethernet 又は USB であること。

(2) 検出器：12 個

- ・有感面積 1200mm² 以上であること。
- ・分解能は 37keV 以下であること。(5.486MeV において)
- ・(削除)
- ・イソプロピルアルコールで洗浄可能であること。
- ・空乏層厚 100 μm 以上であること。

(3) アルファ解析ソフトウェア：2 個

- ・解析は文部科学省測定法シリーズ「プルトニウム分析法」「ウラン分析法」「アメリカシウム分析法」に準拠すること。
- ・アルファスペクトロメータの設定・制御・キャリブレーションが可能であること。
- ・モジュールごとに次の制御が可能であること。
測定開始・終了、データ保存・読込・消去、プリセット、ピークサーチ、真空モニタ、真空ホールド、真空ベント、高圧印加
- ・以下の分析が可能であること。

ROI、トレーサー定量、トレーサーレス定量、ピーククロケイト、エネルギー校正、効率校正、バックグラウンド補正、減衰補正

(削除)

(削除)

- ・ひとつの画面上に 8 個のスペクトルを同時に表示、モニタできること。
- ・以下の出力帳票が行えること。
ピークの左右端・面積カウント、チャンネルごとのカウント、スペクトル図
- ・データベース MicrosoftSQLServer2014 相当以上を含むこと。
- ・サンプルタイプで容易に検索できること。

(削除)

(4) データ処理装置：2 台

OS Windows10 Pro
CPU Core i5 以上 メモリ 8 GB 以上
SSD 500 GB 以上
光学装置 スーパーマルチドライブ
付属ソフトウェア Office 2019 Home & Business 以上
ディスプレイ 19 インチ以上
(削除)
無停電電源装置 700W を 5 分程度対応

(5) アルファ用真空ポンプ：2 台

- ・排気速度は 160 リットル/分以上であること。
- ・到達圧力はポンプの能力として 10-2 Pa 台以上であること。
- ・オイルミストトラップを備えていること。
- ・オイル逆流防止フィルタを備えていること。

(中略)

(5) アルファ用真空ポンプ：2 台

- ・排気速度は東日本 50Hz 環境において 140 リットル/分以上であること。
- ・到達圧力はポンプの能力として 10-2 Pa 台以上であること。
- ・オイルミストトラップを備えていること。
- ・オイル逆流防止フィルタを備えていること。

(中略)

(3) 入札適合条件の変更

変更前	変更後
<p data-bbox="504 387 654 414" style="text-align: center;"><u>入札適合条件</u></p> <p data-bbox="105 454 1066 515">令和3年度アルファ線スペクトロメータの購入を実施するに当たり、以下の条件を満たすこと。</p> <p data-bbox="118 560 1066 691">(1) 令和01・02・03年度（平成31・32・33年度）環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「物品の販売」の「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされている者であること。 (2) 仕様書に記載の仕様を満たす物品で入札に参加すること。</p> <p data-bbox="78 735 1066 866">本件の入札に参加しようとするものは、上記の（1）及び（2）の条件を満たすことを証明するために、様式1及び様式2の機能証明書等を原子力規制委員会原子力規制庁に提出し、原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門が行う適合審査に合格する必要がある。</p> <p data-bbox="78 873 1066 968">なお、機能証明書等（添付資料を含む。）を書面で提出する場合は、正1部、及び副1部を提出すること。電子調達システムで参加する場合は、入札説明書に記載の期限までに同システム上で機能証明書を提出すること。</p> <p data-bbox="78 975 1066 1070">また、機能証明書を作成するに際して質問等を行う必要がある場合には、<u>令和3年8月12日（木）12時</u>までに電子メール又は文書（FAXも可）で、下記の原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門に提出すること。</p> <p data-bbox="105 1118 947 1281">機能証明書提出先： 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ技術基盤課契約係 〒106-8450 東京都港区六本木一丁目9番9号六本木ファーストビル16階 TEL：03-5114-2222 FAX：03-5114-2232</p> <p data-bbox="105 1329 992 1519">質問提出先： 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門 〒106-8450 東京都港区六本木一丁目9番9号六本木ファーストビル16階 担当：高橋宏明（nra.contact.020v.h9s@ks.nsr.go.jp） TEL：03-5114-2225 FAX：03-5114-2235</p>	<p data-bbox="1585 387 1736 414" style="text-align: center;"><u>入札適合条件</u></p> <p data-bbox="1176 454 2136 515">令和3年度アルファ線スペクトロメータの購入を実施するに当たり、以下の条件を満たすこと。</p> <p data-bbox="1191 560 2136 691">(1) 令和01・02・03年度（平成31・32・33年度）環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「物品の販売」の「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされている者であること。 (2) 仕様書に記載の仕様を満たす物品で入札に参加すること。</p> <p data-bbox="1149 735 2136 866">本件の入札に参加しようとするものは、上記の（1）及び（2）の条件を満たすことを証明するために、様式1及び様式2の機能証明書等を原子力規制委員会原子力規制庁に提出し、原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門が行う適合審査に合格する必要がある。</p> <p data-bbox="1149 873 2136 968">なお、機能証明書等（添付資料を含む。）を書面で提出する場合は、正1部、及び副1部を提出すること。電子調達システムで参加する場合は、入札説明書に記載の期限までに同システム上で機能証明書を提出すること。</p> <p data-bbox="1149 975 2136 1070">また、機能証明書を作成するに際して質問等を行う必要がある場合には、<u>令和3年8月18日（水）12時</u>までに電子メール又は文書（FAXも可）で、下記の原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門に提出すること。</p> <p data-bbox="1176 1118 2018 1281">機能証明書提出先： 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ技術基盤課契約係 〒106-8450 東京都港区六本木一丁目9番9号六本木ファーストビル16階 TEL：03-5114-2222 FAX：03-5114-2232</p> <p data-bbox="1176 1329 2063 1519">質問提出先： 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門 〒106-8450 東京都港区六本木一丁目9番9号六本木ファーストビル16階 担当：高橋宏明（nra.contact.020v.h9s@ks.nsr.go.jp） TEL：03-5114-2225 FAX：03-5114-2235</p>

